

町営斎場建替事業地質調査業務に係る説明会

日 時 令和5年7月11日（火）
午後6時30分～

場 所 中央公民館 3階会議室

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 出席者紹介
- 4 町営斎場建替事業地質調査業務について
 - 1) 調査の概要
 - 2) 測量調査について
 - 3) 地質調査について
 - 4) 環境への影響について
- 5 その他
- 6 閉 会

1 調査の概要

(1) 調査の目的

町では町営斎場建替事業の候補地として、都市公園予定地を適地として考えている。

一方で、都市公園予定地は、防災面での懸念や元じん芥処理施設だったこと、住宅地から近いことなど様々な課題を抱えている。

これら課題について、都市公園予定地の状況を把握することを目的に、町有地内のごみの埋立ての状況の確認をするとともに、地盤を調べるための地質調査のほか、敷地の高さのほか地形を確認するための測量調査を実施する。

(2) 業務名 町営斎場建替事業地質調査業務

(3) 期間 令和5年5月29日～令和5年10月31日

2 測量調査について

(1) 調査の目的

町有地の敷地や高さのほか地形を把握するため、町営斎場建設可能地ならびに配置計画の資料となるこれらデータを取りまとめるため、測量調査を行い図面化する。

(2) 調査の範囲

約22,000㎡の敷地を測量する。



(3) 調査の内容

- 基準点測量（4級基準点測量 4点）
現地測量、路線測量を実施するため、その基準となる基準点を設置する。
- 現地測量…細部測量（約22,000m²）
平面図を作成するため現地測量を実施。図化縮尺1/500の平面図を作成する。
- 路線測量
中心線測量、仮BM設置測量、縦断測量・横断測量（0.16km） 断面図、横断図を作成するための路線測量一式を実施する。中心線測量間隔は20m間隔を標準とし、横断測量は片側30mを基準として起伏の変化点や堤防などについては範囲外まで測量する。

※仮BM設置測量…縦横断測量に必要な水準点を現地に設置し標高を定める作業。

※縦断測量、横断測量…中心線からの距離及び地盤高を測定し、断面図、横断図を作成するための測量。

3 地質調査について

(1) 調査の目的

都市公園予定地は余市川が蛇行していた時の名残で三日月湖ができており、これら三日月湖をごみ埋立地として利用していた経緯があった。これらを踏まえ、ゴミ埋立前は民地の耕作地であり、のちに町有地となった箇所のごみの埋立ての状況の確認をするとともに、構造物設計に必要な基礎地盤の土層分布及び地下水位の確認、基礎地盤の強度、そのほか土粒子密度、土の含水比、粒度、液性限界、塑性限界を把握するための調査を行う。

(2) 調査の範囲

ボーリング位置については、建替箇所の配置や土地の有効利用等総合的に検討し、設定する。

(3) 調査の内容

- 機械ボーリング… 30m×1か所、10m×4か所
設計に必要な基礎地盤の土層分布及び地下水位を把握する。
- 標準貫入試験… 30m×1か所、10m×4か所
設計に必要な基礎地盤の強度を把握する。
- 孔内水平載荷試験… 1回
設計に必要な荷重強度を把握する。(30mボーリング孔)
- 室内土質試験… 10試料
土粒子密度、土の含水比、粒度、液性限界、塑性限界を把握する。

※含水比試験…土の含水量の状態判断。含水比を求める。

※粒度試験…粒度分布の確認。土の分類。各粒径に対する質量比を求める。

※液性限界、塑性限界試験…土の状態が変化する境界の含水比を測定する。

※液性限界…土が塑性状態から液状態に変わる境界の含水比。

※塑性限界…土が半固体状から塑性状態に変わる境界の含水比。

4 環境への影響について

(1) 調査の目的

都市公園予定地について、周辺地域の生活環境に及ぼす影響の分析を行い、その結果に基づく適切な対策を検討することを目的とする。

(2) 調査の内容

ダイオキシン類、カドミウムや鉛、ガスなど環境基準項目について土壌調査や地下水調査の実施を予定している。

5 むすび

本日の説明会の資料については、余市町ホームページに掲載させていただきます。また、調査結果については、この業務が終了後、検討結果と合わせて、説明会を開催させていただくことを考えています。